【高山市DX推進計画成果報告】

高山市のDXの取り組み





高山市 総務部 行政経営課

高山市DX推進計画の概要

高山市DX推進計画 (R3 (2021) ~ R6 (2024))

デジタル技術の急速な進展

新型コロナの感染拡大

国の動向 ____

デジタル庁の創設国を挙げたDX推進

市民生活の変化 __

新しい日常への対応 働き方等の改革

市の対応

高山市DX推進計画の策定、推進

市民の多様なライフスタイルに寄り添う 「人を中心としたやさしい地域社会」の実現



DX推進5原則

(1)市民や事業者など"利用者目線"に立って進める ユーザーファーストの原則 (4)"小さく始め" (2)組織の縦割りを 改善を重ねて徐々に 廃して"分野横断" 拡大を進める により進める スモールスタート 高山市における の原則 DX推進5原則 の原則 (3)小手先ではなく (5) 地域や事業者などとの "官民連携"により進める "業務改革"を基本として進める <mark>デジタルシフト</mark>の原則 <mark>パートナーシップ</mark>の原則

目指す姿・取り組みの柱

目指す姿

人にやさしいデジタル化 による

"便利"かつ"快適"で"活気"ある

未来創造都市 飛騨高山

推進の ための 3本柱



"便利"

DXによる 市民サービス向上



"快適" DXによる

DXによる 暮らしやすいまちづくりの推進



"活気" DXによる

産業や社会のイノベーションの創出

【取組みの体系と将来像(ビジョン)】



"便利"

DXによる 市民サービス向上

Ⅲ行政手続きオンライン化の推進

✓ 自宅のパソコンやスマートフォンを使って、 ほとんどの行政手続きが完結できる ような環境を整えます。

✓紙(アナログ)からデジタルを主眼 とした働き方改革を進め、内部 事務の効率化を図ります。

▶ 「行かなくてもよい市役所」の実現

2情報システムの標準化・共通化への対応

- ✓国の進める住民情報など主要な情報システム の標準化・共通化に適切に対応します。
- ✓情報システムの更新に合わせた業務プロセス の標準化を進めることにより、窓口のワンストッ プ化や一部業務の外部委託、タブレット端末に よる入力支援など窓口業務改革を進めます。
 - **>>**「書かなくてもよい市役所」の実現

③ AI·RPA等最新技術の活用

✓ AIや RPA など最新のデジタルツールを活用し、 業務効率化やサービスの高度化を進めます。

✓効率化により生み出した人的 資源を業務改革や企画、相談 支援など職員が本来注力 すべき業務へと振り向けます。

▶ 便利でより良い市民サービスの実現



"快適"

DXによる 暮らしやすいまちづくりの推進

□マイナンバーカードの普及・活用促進

- ✓ デジタル社会の基盤となるマイナンバーカード の普及を進めます。
- ✓ オンライン申請の際の本人確認 や市独自利用など利便性向上 により、活用を促進します。



♪ 暮らしに役立つマイナンバーカードの
利便性の確保

2情報セキュリティ対策の徹底

- ✓ ウイルスメールやサイバー攻撃、人的ミスなど 各種脅威に備えて、ハード・ソフト両面からの 情報セキュリティ対策の徹底を図ります。
- ✓個人情報の漏洩など、セキュリティ事故の防止 に向け、関わる誰もが高い意識で取組みます。
 - ≫ 誰もが安心して利用できる 情報セキュリティの安全性の確保

③デジタルデバイド(情報格差)への適切な対応

✓ デジタルデバイドの要因である環境や能力、 関心等に応じた、デジタルの活用

促進や代替手段を講じます。

✓多様な市民に寄り添える「人に やさしいデジタル化」を進めます。

> **>>** 一人ひとりのニーズに寄り添える 包摂性の確保



"活気" DXによる

DXによる 産業や社会のイノベーションの創出

□テレワークの推進、デジタル産業の誘致・創出

- ✓ 多様な働き方の実現や関係人口の獲得等を 目指し、テレワークの普及拡大を進めます。
- ✓地域資源を活用したプロモーション の展開等により、デジタル関連産業 の誘致や起業促進を進めます。
 - **>>** 様々な分野でイノベーションを進める 人や産業が集積するまちづくり

2オープンデータの充実

- ✓機械判読に適し、二次利用等が可能なルール により、各種データのオープン化を進めます。
- √データに基づく政策形成や民間利用 の促進、地域課題の解決など、データ 活用による地域活性化を図ります。
 - >>> 地域課題の解決に向けてデータが 活用されるまちづくり

③地域社会のデジタル化の推進

- ✓事業者と連携した通信環境の整備を進めます。
- ✓市と民間事業者や団体など地域のDXに取組 む関係者等による官民協働組織を設置し、 デジタル人材の確保育成など様々な活動を通じ 地域社会のデジタル化を進めます。
 - >>> デジタル人材育成の好循環が 生まれるまちづくり

DX推進体制の整備

CDO:市長

CDO補佐官:古里圭史さん │ R5年4月委嘱



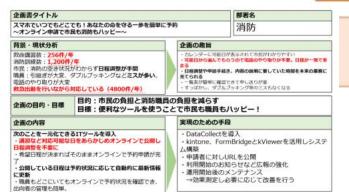
※DX推進部会

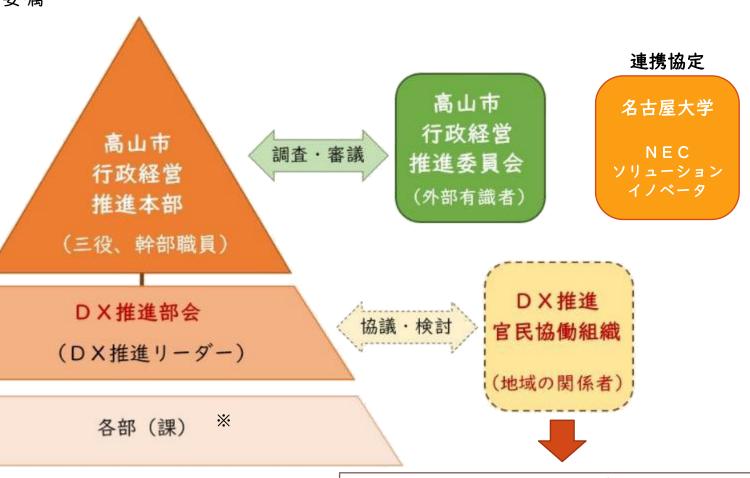
構成:希望職員2 | 名(R6)

取組内容: D X 人材育成研修の受講、

庁内のDX推進に向けた情報共有

BPRの推進 など





「飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム」 として組織を設立 | R6年I0月

計画期間 (R3~R6) の主な取り組み

(1) 市民サービス・手続きのデジタル化

行政手続きのオンライン化の推進



- ソフト面:既存ルールの見直し(条例の制定)
 - ・「高山市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例」 | R 4. | 2
 - ⇒個別の条例で書面・対面で申請しなければならなかった手続が 原則オンラインで可能に
- ハード面:汎用電子申請システムの導入
 - ・様々な申請フォームを職員が作成可能
 - ・アンケートや補助金申請などの市民からの手続きや、 庁内の各種手続きなどに幅広く活用

【実績】

・オンライン可能な手続き数

R3:595件(18.2%) ⇒ R6:1,092件(52.2%)

・オンライン可能かつ、年間50件以上の手続きの オンライン化率(手続き種類ベース)

 $R3:61.0\% \Rightarrow R6:81.4\%$

・ぴったりサービス26手続き(子育て・介護関係)

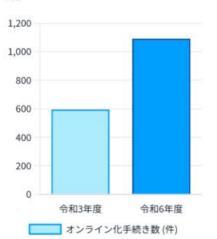
 $R3:100\% \Rightarrow R6:100\%$

・よく使う32手続きのオンライン化

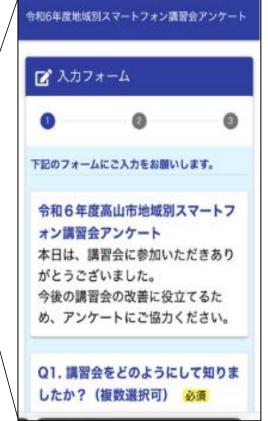
 $R3:50\% \Rightarrow R6:81\%$

オンライン手続きがほぼ倍増

オンラインで完結できる行政手続きの 数は、この3年間で大幅に増加しまし た。







旅券(パスポート)申請のオンライン化



■ 旅券 (パスポート) の申請がマイナポータルから行えるように | R7.3

(市役所で取り扱うことができる手続き)

- ・一般旅券発給申請
- · 残存有効期間同一旅券申請
- ・一般旅券の紛失等の届け出
- ・居所申請

(メリット)

- ・窓口へ出向くのはパスポート受取り時の1回のみ
- ・戸籍謄本の原本の提出が不要に
- ・申請手数料がオンライン申請の場合は割安に



引っ越しワンストップサービスの導入



- 転出届の提出がマイナポータルから行えるように | R 5.2 (行えること)
 - ・転出届の提出
 - ・転入予定の市区町村への来庁予定の連絡
 - ・高山市内での転居に伴う来庁予定の連絡
 - ⇒転出にあたり、高山市への来庁が原則不要に
 - ⇒窓口開庁時間を気にせず手続きできるように
 - ⇒引っ越し先の市町村窓口で必要な手続きや持ち物が 分かるように





【実績】

・転入転出ワンストップ手続件数 R4: 157件 ⇒ R6: 673件

軽自動車関連手続きのオンライン化



軽自動車保有手続きの ワンストップサービス(軽OSS)



軽自動車保有関係手続きの ワンストップサービス (軽JNKS)



⇒新車購入時の軽自動車保有関係手続きが オンラインで可能に

⇒継続検査窓口での納税証明書の提示が不要に

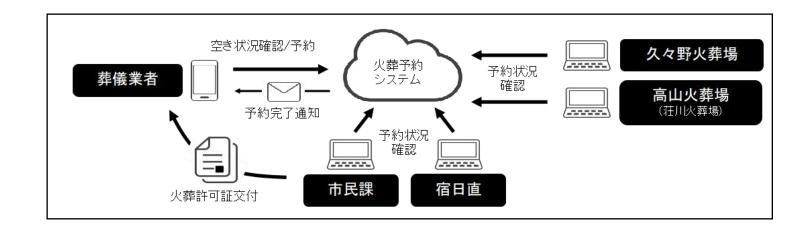
火葬予約システムの導入



■葬儀会社からの火葬予約などをオンライン化 | R 6. 8~

(主な機能)

- ・火葬場の空き状況の確認
- ・火葬の予約



- ⇒空き状況の確認と予約をワンストップで行えるように
- ⇒電話予約による人為的なミスの防止に
- ⇒電話対応やFAX送信といった定期的な事務が省力化

【実績】

・火葬予約システムでの予約件数 R6:812件

施設予約システムの拡充



- ■施設予約システムで予約できる施設を拡大
 - ・施設予約システムで予約可能なスポーツ施設が支所地域に拡大 | R6. 3
 - ・生涯学習施設の予約にも対応 | R7.2

(主な機能)

- ・地域や利用目的からの施設検索
- ・施設の予約、空き状況の確認
- ・利用抽選
- ・施設管理者からお知らせ

⇒スマートフォンやパソコンから手軽に予約できるように

【実績】

・施設予約システム利用登録団体数 R3:2,018件 ⇒ R6:2,724件



図書館システムのリニューアル



- ■図書館システムをリニューアルし、新たなサービスを提供 | R7.3
 - ・スマホで貸出
 - →スマートフォンに図書利用カードを表示させ貸出ができるように
 - ・新着案内配信サービス
 - →興味あるキーワードを登録しておくと、 関連する書籍が入ったときに案内メールが届く
 - ・返却予定日通知メール
 - →返却日の3日前にメールでお知らせ
 - ⇒さらに身近で使いやすい図書館に



スマートフォンアプリの活用



ごみ分別アプリ



【実績】

・アプリダウンロード件数

R3:4,315件 \Rightarrow R6:9,041件

電子母子手帳



予防接種のスケジュール管理&通知

予防接種の事態お知らせ、スケジュール管理、忘れ防止ア ラート構能で、面倒な予防保種の調整をアプリでサポート います。







わざわざ母子手帳を聞かなくても、必要な時に応じて、ア プリでお子さまの成長記録をグラフで確認できます。



お手元のアプリに、お住まいの地域の育児情報や、育児に 必要な手続き・施設・イベント情報等を、お届けします。



【実績】

・アプリダウンロード累計

R3:1,361件 ⇒ R6:1,817件



公衆無線LANの整備

"便利" DXによる 市民サービス向上

■公共施設にWi-Fi環境を整備 R 4. 8



【実績】

·公共施設Wi-Fi整備箇所数

R3: | 箇所 ⇒ R6: 22箇所

·公共施設Wi-Fi実利用者数(年間)

R4:3,915件 ⇒ R6:33,928件

公共施設のロビーや主な会議室で、 Web会議やオンライン配信などに利用できる 公衆無線LANが利用可能に(時間制限なし)



【実績】

· 市街地Wi-Fi実利用者数(年間) R3:4,493件 ⇒ R6:21,803件

マイナンバーカードの普及

"快適" DXによる 暮らしやすいまちづくりの推進

78.2%

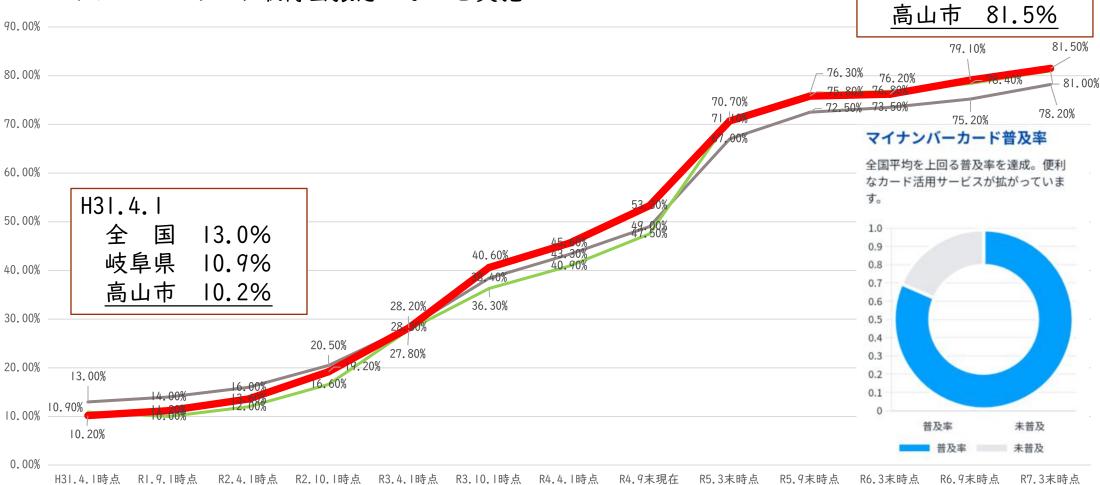
81.0%

R7.3末

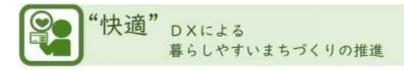
国

岐阜県

- ■市民がマイナンバーカードを取得しやすい環境を整備
 - ・マイナンバーカード取得出張窓口などを実施



「書かなくてもよい」市役所の推進



■窓口受付支援システムを導入 R 7. 2

《マイナンバーカードの読取》

- ・本人確認書類(マイナンバーカード)の券面情報を読み取り、申請書に自動転記 《手続ガイダンス機能》
 - ・ガイダンス機能により、来庁者の状況に応じて必要となる手続を判定
 - ・職員の経験を問わず、手続が可能

《申請書一括作成》

・上記で入力した内容を利用し、各種申請書を一括作成、印刷

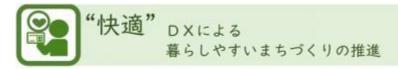
【実績】

・システムで作成可能な帳票数 R6:30帳票





「待たなくてもよい」市役所の推進



■本庁舎内にマルチコピー機を設置 | R 6.7

- ・窓口にコンシェルジュを配置
 - →証明書の取得のために来庁した市民でマイナンバーカード 所持者にはマルチコピー機での証明書取得を誘導
- ・コンビニに設置しているマルチコピー機と操作方法が同じ →コンビニ交付サービスの推進



・市民の利便性向上 ・窓口の混雑緩和

【実績】

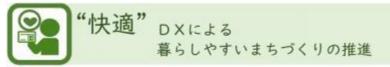
・証明書マルチコピー機利用件数 R6:1,383件

・コンビニ交付枚数 R3:9,629件 ⇒ R6:19,215件









- ■市HPでよくある問合せを24時間365日自動応答 R3.4
 - ・市ホームページ、市公式LINEから問合せ可能







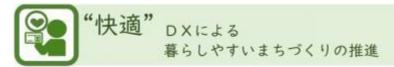
【実績】

・A I チャットボット質問数 R3:7,759件 ⇒ R6:24,854件

・A I チャットボット利用件数 R3:3,045件 ⇒ R6:9,622件

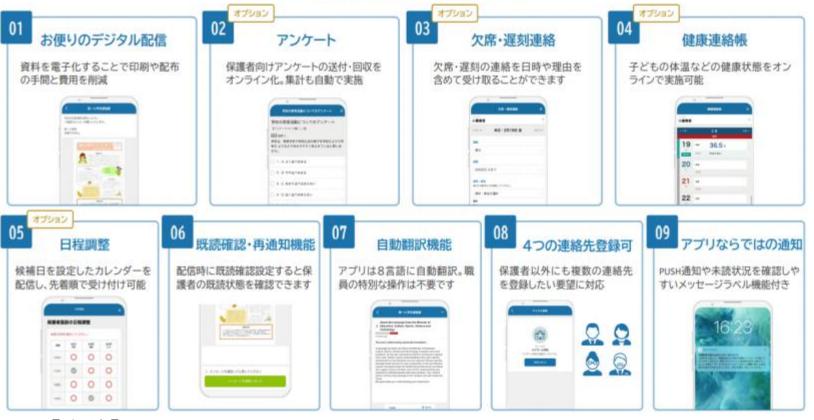


メール配信サービスのリニューアル



■アンケート機能、欠席・遅刻等の連絡機能など双方向機能を充実 R 5. I 0

資料配布、アンケート、欠席連絡等をデジタル化し、 教育現場の業務負担を軽減



【実績】

・メール配信システム利用者数 R3: I5, 225人 ⇒ R6:31, 240人



ホームページのリニューアル



- ■市民が欲しい情報を見つけやすく、分かりやすいホームページに R 6.2
 - ・ニーズの高い情報をトピックとして再構築
 - ・配色やバナーの見直し
 - ・スマホでも見やすいレイアウト等の見直し
 - ・災害時の情報発信の強化
 - ・市民が気軽に意見しやすいレイアウトへの見直し





- ■多言語自動翻訳に対応 | R 6.9
 - ・自動翻訳サービス(Google翻訳)を使用し、多くの言語(※)に翻訳
 - ※対応言語:英語、中国語簡体字、中国語繁体字、韓国語、ベトナム語、ネパール語、タガログ語 ほか

(2) 庁内業務の効率化

デジタル人材の育成

"便利" DXによる 市民サービス向上

- D X 推進部会員を対象とした研修の開催 | R 4 ~
 - ・オンライン研修
 - ·BPR研修(対面研修)
 - ·デジタルツール活用研修(DX推進部会の中で開催)



- ■新規採用職員を対象としたITリテラシー研修の開催 | R5~
 - ・オンライン研修

- 幹部職員を対象とした勉強会の開催 │ R 6 ~
 - ・CDO補佐官による講義



【実績】

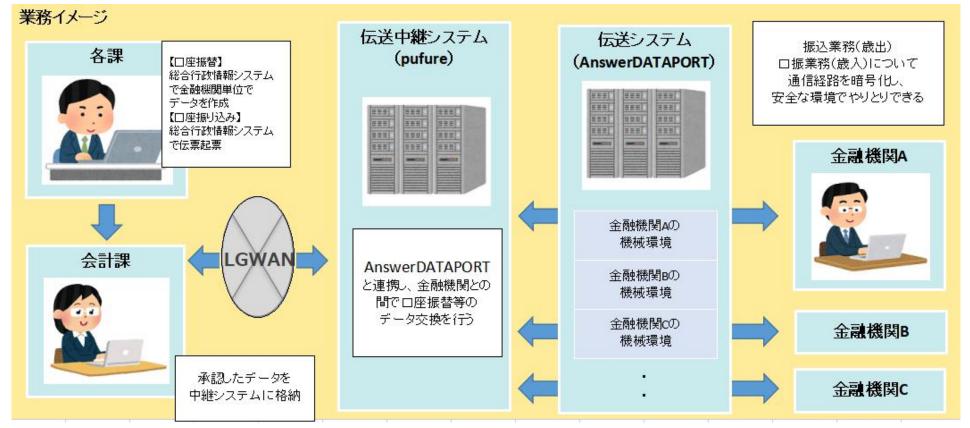
・研修参加者数(DX推進部会向け、新規採用職員研修向け) R3:23人 ⇒ R6:47人



公金口座データの伝送化



- ■金融機関への口座振替及び口座振り込みのデータを伝送化 | R7.1~
 - ・毎月2人 | 組で行っていた口座振替記録媒体の金融機関持ち込みが不要に



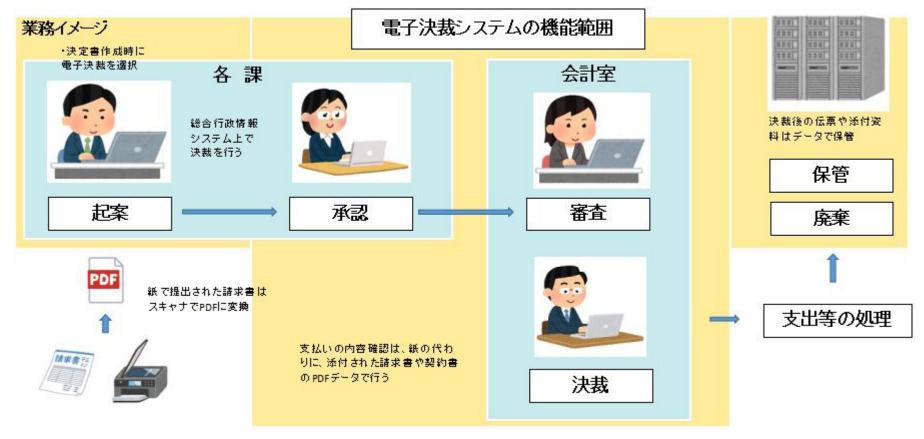
【実績】

・公金口座の伝送化による業務時間削減効果 R6:162時間

会計伝票の電子化



支出負担行為決議書や支出命令書など6種類の伝票処理を電子化 R 5. I 2



【実績】

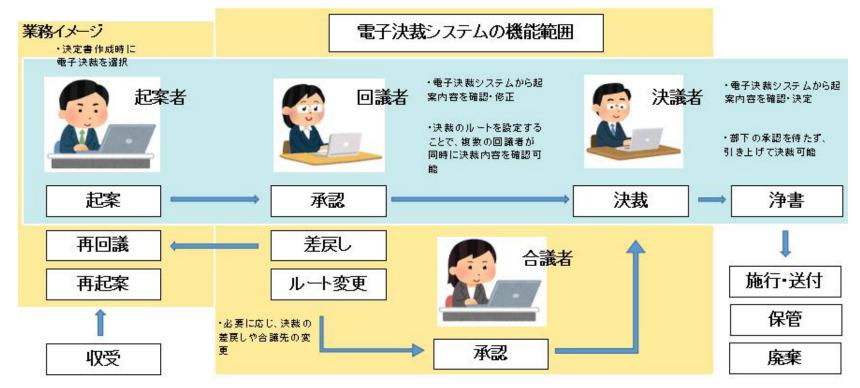
・伝票の電子化件数 R5:20,789件 R6:70,058件

・伝票の電子化率 R5:84.8% R6:94.8%

文書管理の電子化



- ■文書決裁システムの導入 R 6.2
- ・決定書を作成する文書管理システムに、電子データで起案・決裁ができる機能を追加
- ・現在、全庁的に試行運用中



【実績】

・文書管理の電子化件数 R5:730件 R6:1,472件

・文書管理の電子化率 R5:10.6% R6:4.3%

グループウェアの刷新



- ■近年の新しい働き方に対応したグループウェアに刷新 | R 6. I 0
- ・メール容量の増大や業務の効率化、在宅ワークなどの推進に 対応できるシステムに刷新

(主な機能)

- ・既存機能:スケジュール管理、回覧版、メール、掲示板 など
- ・追加機能:簡易的な電子決裁(ワークフロー)

ペーパーレス会議

アプリ開発(ローコード業務改善ツール)

外出先からの接続

【メニュー画面】



【ワークフロー画面】



【アプリ開発画面】



【実績】

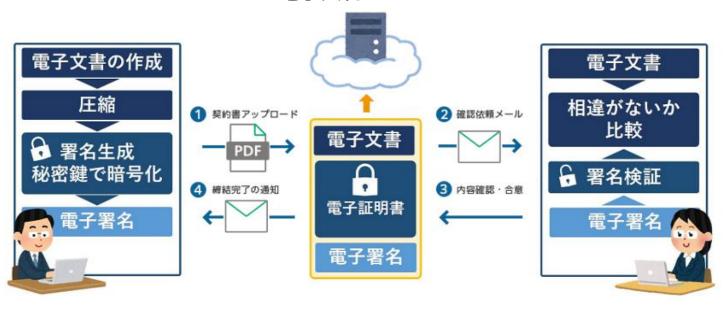
・年間コピー枚数の削減※ R3:7,466千枚 ⇒ R6:6,088千枚 ※グループウェアの刷新以外による削減効果を含む

電子入札の活用・電子契約の導入



- 一定規模以上の建設工事、建設コンサル業務で電子入札を活用 | H | 7
- ■新たに、一定規模以上の建設工事、建設コンサル業務で契約を電子化 | R 5. I 0
 - ⇒契約書作成に係る事務負担が軽減。印紙も不要に

電子契約システム



【実績】

- ・入札の電子化件数 R3:226件 ⇒ R6:391件
- ・入札の電子化率 R3:51.5% ⇒ R6:91.4%
- ·契約書類の電子化件数 R5:49件 R6:172件
- ·契約書類の電子化率(対象手続きのみ) R5:42.6% R6:56.0%

議会のペーパーレス化



- タブレット端末を導入 | R 6. I
- ■ペーパーレス会議システムを導入 | R 6.7
 - ・令和6月8月の常任委員会から試行運用を開始
 - ・令和7年3月定例会から本格運用を開始



【実績】

・議会ペーパーレス会議システムによる紙の削減枚数 R6:7,270枚

生成AIの試行



- D X 推進部会員及び希望職員にて試行的に活用開始 | R 5. | 2
 - ・DX推進部会で勉強会を開催
 - ・活用内容:説明資料や通知文の文案作成 計画作成や広報作成におけるアイデアの創出 会議録の要約 アンケート項目の検討 など



- 安全に利用するためのガイドラインを作成
 - ・データ入力に際しての注意事項 (個人情報等の入力禁止、学習内容に反映させない設定 など)
 - ・生成物の利用に際しての注意事項 (内容に虚偽の内容が含まれている可能性があること など)
- 上手に利用するためのマニュアルを作成
 - ・アカウント登録方法
 - ・事例に応じたプロンプト例

【実績】

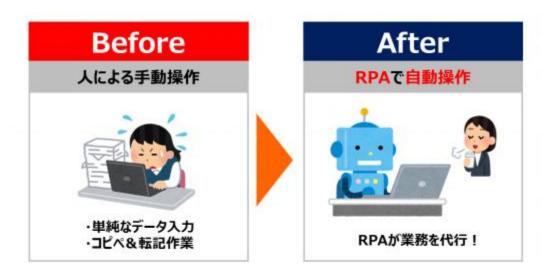
・生成AIの利用件数

R5:469回 R6:6,221回

RPAによる業務の自動化



■パソコンで行う大量・単純な作業的業務を自動化



XRPA

: Robotic Process Automationの略 これまで人間が行ってきた定型的な パソコン操作をソフトウェアロボット により自動化すること

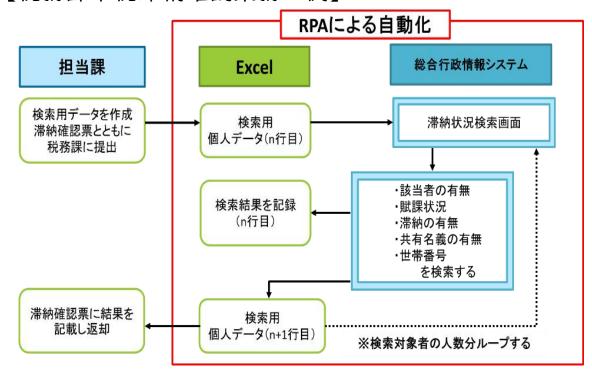
【実績】

・RPAの活用業務数 R3:23業務 ⇒ R6:21業務

・RPAの活用による業務時間削減効果

【税務課市税滞納確認業務の例】

R3:584時間 ⇒ R6:770時間



RPAによる業務時間削減

時間/年



GISの多目的活用

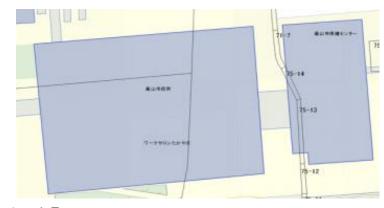


■ GISを充実させ、庁舎内外で幅広く活用

用途区域や都市計画道路などの 情報を公開



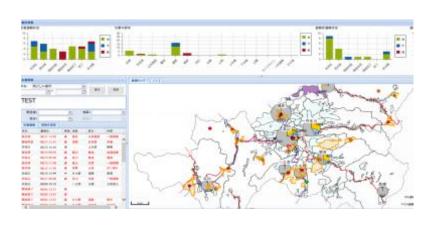
登記情報の表示



【実績】

・統合型GISのアクセス回数 R3: 14,603アクセス ⇒ R6: 26,838アクセス

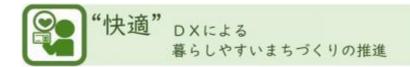
災害情報の集約



わがまち防災マップの公開



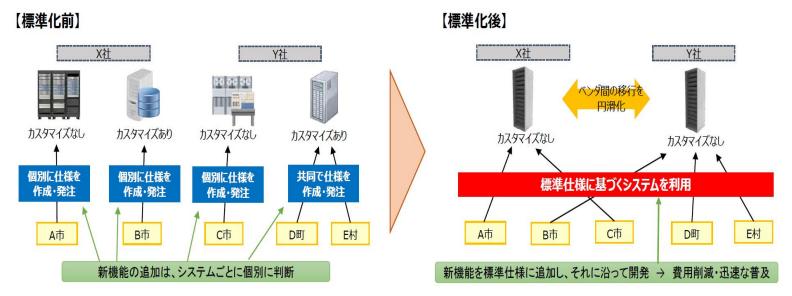
情報システム標準化への対応



■基幹業務20業務のシステムを国が示す標準仕様に適合したシステムに移行

(期待される効果)

- ・行政運営の効率化による人的・財政的負担の軽減
- ・オンライン申請や様式の統一による住民・企業等の利便性の向上
- ・システム事業者(ベンダ)間の競争の促進



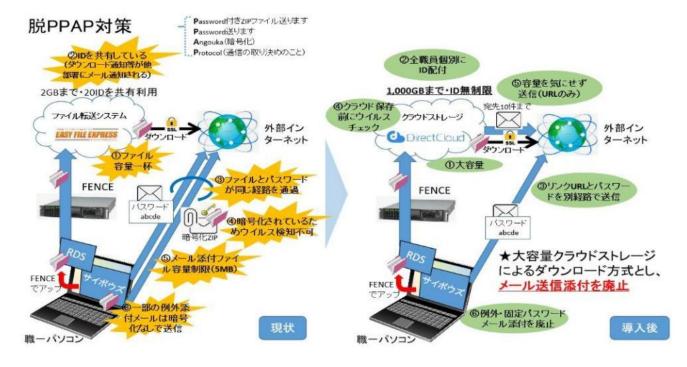
【実績】

- ·標準準拠対応業務数 R5:19業務 R6:19業務
- ・システム標準化移行進捗 R4:9.8% ⇒ R6:68.5%

情報セキュリティ対策



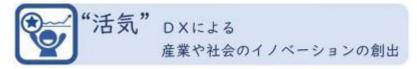
- クラウドストレージを導入 | R 4.9
 - ・メール添付ファイルを暗号化してZIP形式で送り、その後パスワードを送信する方法を廃止し、オンラインストレージを用い、安全に送信する方法に変更



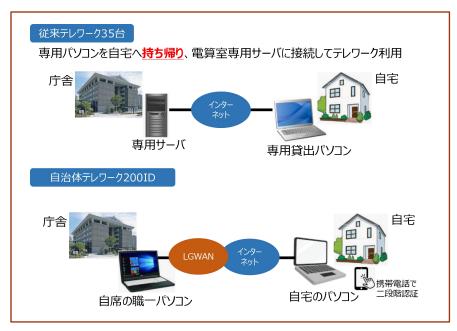
【実績】

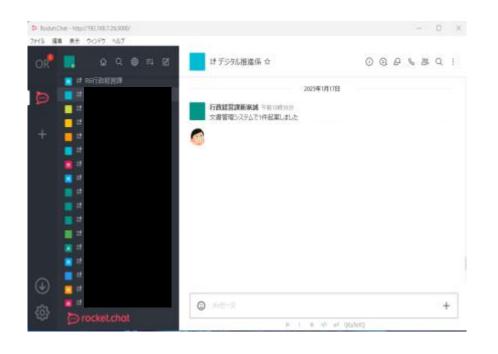
- ・セキュリティ研修参加者(延べ人数) R3:357人 ⇒ R6:372人
- ■サイバー攻撃に備えたネットワーク監視 | R7.2
 - ・ネットワークのセキュリティの状況を可視化するシステムを追加し、安定したネットワーク監視が 行える体制を整備

テレワークの推進



- ■テレワーク端末の整備、自宅パソコンの活用
- ●庁内職員専用のチャットツールの整備
 - ・自宅や出張先等でも効率的に仕事をできる環境を整備





【実績】

- ・職員テレワーク利用数(延べ人数) R3:3,075人 ⇒ R6:5,276人
- ・オンライン会議 (web会議) の開催回数 R3: 940回 ⇒ R6: 801回

(3)地域課題の解決・産業振興のDX

AIによる人流計測・分析



- ■市内中心部に、人流量などを計測できるAIカメラを設置し、24時間365日計測
- ■計測したデータは、市のオープンデータとして公開。
 - ・市役所だけでなく、市内の事業者などでも幅広く活用

13箇所にカメラを設置

高山市 AIカメラ 人数+方向+年齢性別 4 台 名大 AIカメラ 人数+車両台数+方向 9 台



AIで性別、年齢を判断



計測データを公開



AIによる窓口の混雑状況可視化



リアルタイムの混雑状況を 公開 | R5.4



A I で混雑を予測しカレンダー形式で 公開(実証実験) | R 5. 6



【実績】

・市民課窓口混雑状況のホームページ閲覧数 R5:1,772件 R6:2,112件

AIを活用した漏水リスク調査



- A I を活用して水道管の劣化リスクを解析 | R 6
 - ・人工衛星画像からの取得データやオープンデータ、管路データを基に、AIを活用して 劣化リスクを解析し、漏水のリスクを5段階で評価
 - ⇒漏水のリスクが高いエリアに絞って路面音聴調査を行うことが可能
 - ⇒老朽管の更新検討にあたり、優先的箇所の選定が可能



公共交通機関でのデジタル技術の活用



バスの現在地がリアルタイム分かるバスケーションシステムや、高校生以下の人が無料でバスに 乗車できる"ヤングパスポート"をスマートフォンで提供

バスロケーションシステム | R5. 4



【実績】

・導入済み路線数 R5:4路線 R6:8路線

ヤングパスポート | R5.2





【実績】

・のべ利用件数 R4:384件 ⇒ R6:12,443件

電子地域通貨の活用



- ①公金納付での利用
 - ※市税、健康保険料、上下水道使用料の納付に使用可能
 - ※その他、窓口などでの23種類の手数料等の支払に対応
- ②市内周遊バスでの利用
- ③健康ポイント事業での活用
- ④マイナポイント事業での活用
- ⑤コロナ禍において商店街を支援
- ⑥本庁舎にチャージ機を設置(R3.11)
- ⑦プレミアム付き商品券 (R4.7)
- ⑧グリーンライフポイント (R4.9~)
- ⑨高山市ふるさと納税ポイント (R5.11~)





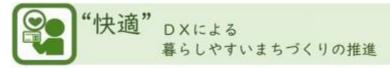


6





デジタルデバイドへの適切な対応



- ■身近な場所で機器の操作を学習できる講習会を開催
 - ・機器の基本操作や市が提供するスマホアプリの体験など幅広く網羅
 - ・少人数制で受講者の質問にきめ細かく対応







ORコードの読み取り

① カメラ機能を設施し、 ② 施国上部に構れる 特内にQRコードを求める 表示を押す

※機種によって方法が異なります

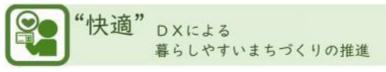
【実績】

・講習会の開催箇所 R3: I箇所 ⇒ R6:30箇所 ⇒ R6:30箇所

・講習会参加者(延べ) R3:8人 ⇒ R6:135人



地域コミュニティにおけるデジタル技術の利活用



■町内会活動支援アプリのテスト運用(テスト期間:R5~6年度)

【サービス内容】 地域の実情に応じて機能のカスタマイズが可能!

- ・電子回覧板
- ・会議などの出欠確認
- ・アンケート
- ・災害時の安否確認 など

【期待される効果】

- ・役員等の負担軽減と持続可能な組織運営
- ・安全・安心な地域づくり活動を推進
- ・地域に関わる人や、関わり方が広がり、新たなつながりの創出や活動の展開

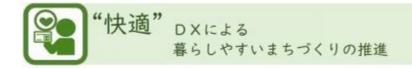
【実績】

・町内会活動支援アプリの導入団体数 R5:4団体 R6:9団体

・町内会活動支援アプリの利用者ID数 R5:867件 R6:2,786件



保育士の負担軽減と保育の質の向上



■公立保育園8園に保育支援システムを導入 R5.1

【主な機能】

(園児台帳)

- ・園児の名前、クラス、生年月日、健康情報など、園児毎にあらゆる情報を一元管理
- ・指導計画や月案・週案を効率的に作成、ペーパーレス化

(お知らせ一斉配信)

・全体やクラス毎などお知らせを一斉配信、既読管理ができ、災害など緊急時も確実に通知

(遅刻・欠席・お迎え・延長)

- ・遅刻・欠席・お迎えなどに伴う連絡を、保護者アプリから送信
- ・園は電話対応することなくタブレット等でリアルタイムに受け取り

(登降園管理)

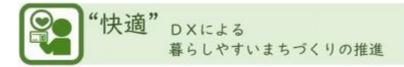
- ・園児の登降園記録は、QRコードを使った打刻機能で自動管理
- ・保護者はスマホアプリを使用し登降園時刻などの確認が可能

【実績】

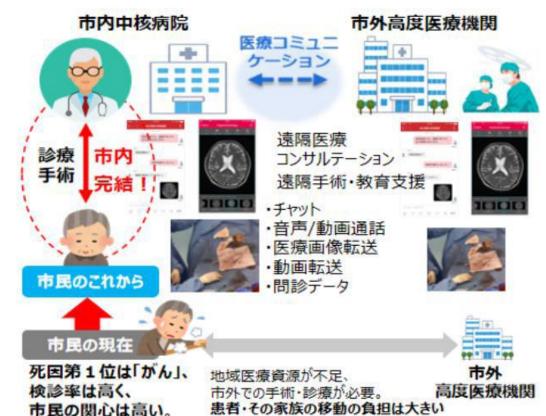
- ・保育支援システムでのメール配信件数 R5:1,508件 R6:2,356件
- ■私立保育園 | 園の保育支援システム導入に対する支援 | R5
 - ・市内すべての保育園で保育支援システムの利用を開始



がん医療対策ネットワークの形成



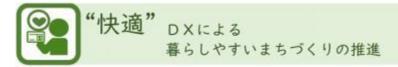
- 高度医療を市内で完結させ、市民の負担と将来の不安が軽減される地域医療 を目指す。 | R 7.3
 - ①**医療情報共有システム** 市内中核病院と市外高度医療機関を結ぶ コミュニケーションアプリを導入
 - →市内中核病院が医療コンサルテーションを 受けられる環境を整備
 - ②遠隔手術支援システム 市内中核病院の手術室内の映像を リアルタイムで遠隔モニタリング →高度医療機関から手術支援を 受けられる環境を整備



【実績】

- ・医療情報共有システム及び遠隔手術支援システムの導入補助件数 R6:3件
- ・遠隔手術支援システムによる手術支援件数 R6:6件
- 医療DXがんフォーラムの開催数 R6: I回

「医療MAAS(マース)」



- ■移動診療車を導入 R 6. I 2
 - ・居住地域によって受けられる医療サービスの格差の縮小
 - ・特に医療資源の乏しいへきへき地での患者の早期治療や重篤化予防
 - ・オンライン診療による医師の訪問先への移動時間削減

①車両概要

・車載用ベッドやオンライン診療に必要な機材を収納するキャビネットなどを配置した「マルチタスク車両」

②移動診療車での診療内容

- ・看護師が移動診療車に同乗し、医師は拠点診療所から オンライン診療を行う
- ・患者の容態等によっては、医師が同乗して直接診療を 行う場合も想定

【実績】

・オンライン診療利用者(受診者)数 R6:I0人

電子カルテシステムの更新



- ■国民健康保険診療所の電子カルテシステムを更新 | R 5. I
 - ・国民健康保険診療所や出張診療所において使用している電子カルテシステムについて、 機器及びシステムを更新
 - ・往診時や出張診療所でも使用できるよう通信機器等を整備
 - ⇒診療所毎に患者情報を一元管理し、スタッフ間の正確な 情報共有や診療業務が可能に
 - ⇒画像診断システムや検査システムとの連携により、診療 の質が向上
 - ⇒診療オーダーや会計処理、予約管理などがシステム化され 業務効率化を実現

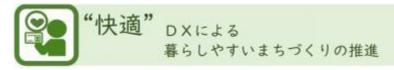


電子カルテ構成イメージ図

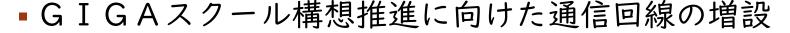
【実績】

・電子カルテ端末台数 R3:22台 R4:28台 R5:29台 R6:34台

学校教育分野におけるDXの取り組み



- ■在宅学習のための通信環境の整備
 - ・Wi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸与
- I C T機器運用支援ヘルプデスクの設置
 - ・各学校の教員からのICT機器やアプリケーションの操作方法、不具合についての問い合わせに対応



- ・各学校にIGbps回線と負荷分散装置を新設
- ・インターネット系通信を各学校から直接接続





デジタル観光マップの導入



- 「飛騨高山ぶらり散策マップ」をデジタル化 │ R 6.2
 - ・40年以上前から紙媒体で発行してきた「飛騨高山ぶらり 散策マップ」をデジタル化
 - ・デジタル版では、紙媒体ではできない現在地表示や、観光 施設、公衆トイレ、駐車場など約200スポットの情報を 表示
 - ・目的地までのルート案内も可能

機能

- ① 現在地表示・目的地までのルート検索
- ② ルーム機能 (メンバーの位置情報共有・チャット)
- ③ カテゴリー検索
- ④ Googleマップへの切り替え

【実績】

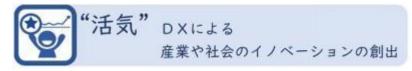
・デジタル散策マップへのアクセス数

R5: 14,989アクセス R6:165,096アクセス





IT人材の育成





・対象:飛騨地域内の高校生

・内容:ITスキルを習得するための研修の実施

DXの促進などについてのセミナーの開催

【実績】

·開催回数: | 3回 受講者数: 8人

「ITリスキリングセミナー」 | R6年度

・対象:自社のDXを進めたい市内企業経営者、DX担当者等

・内容:デジタル化による生産性向上や経営革新を促進するための DX実践講座

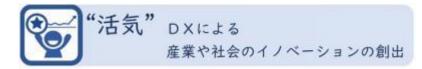
【実績】

·開催回数:5回 受講者数:|2名





民間事業者のデジタル化促進



- ■高山市デジタル技術活用促進支援事業補助金 | R 6 年度~
 - ・高山商工会議所等の支援を受けながらデジタル技術を活用した生産性向上や働き方改革 に取り組む事業者を支援

【補助金の額】

補助率 Ⅰ / 2 補助上限額 3 0 万円

【補助対象事業の例】

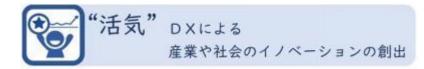
- ・テレワーク環境整備
- ・会計システム導入による経理時間の削減
- ・クラウド活用による業務効率化
- ・QRコードを使った在庫管理の効率化
- ・RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)による定型業務の自動化

【実績】

·補助金交付件数 R5:38件 R6:39件



民間事業者のデジタル化促進



- ■スマート農業技術導入支援事業補助金 | R3年度~
 - ・ICTやAIといったスマート農業技術を活用した農業機械の導入経費の一部を助成

【補助対象事業の例】

- ・防除用ドローン
- ・直進アシスト田植機
- ・ハウス内の環境センサー
- ・ラジコン草刈機

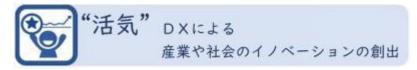
【補助金の額】

補助率 Ⅰ / 2 補助上限額 4 5 0 万円

【実績】

·補助金交付件数 R3:5件 R4:4件 R5:5件 R6:5件

民間事業者のデジタル化促進



- ■スマート林業推進事業補助補助金 | R5年度~
 - ・木材の生産性の向上や労働安全の確保を図るため、様々な工程において I C T 技術の活用や機械化といったスマート林業を推進

【内容】

- ①森林管理・調査に必要な測量技術やデジタル測量機器の購入
- ②森林整備に使用する高性能林業機械のレンタル

【補助金の額】

- ①補助率 1 / 2 補助上限額 5 0 万円
- ②補助率 | / 2 補助上限額30万円/月額、対象期間:延べ6か月

【実績】

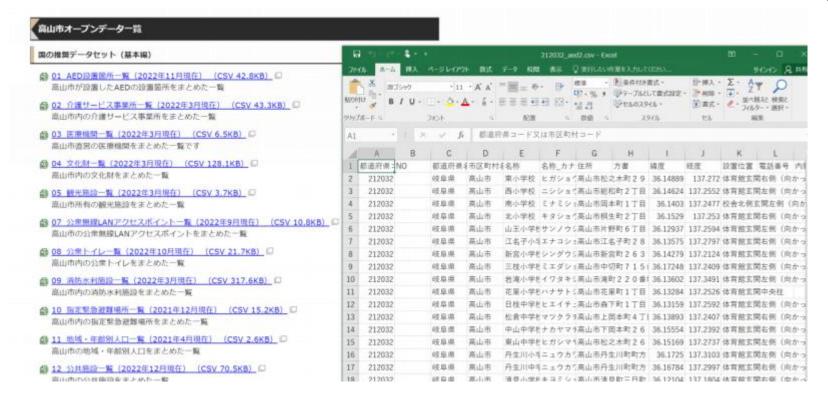
・補助金交付件数 R5:2件 R6:4件



オープンデータの充実

活気" DXによる 産業や社会のイノベーションの創出

- AIカメラの人流データをはじめ、様々データを公開
 - ・ワークショップなどを通じて地域での活用を促進



【実績】

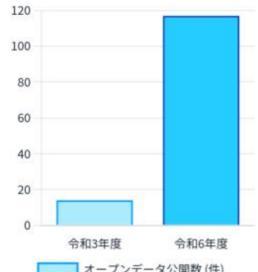
- ・オープンデータの公開数 R3: |4件 ⇒ R6: | |7件
- ・オープンデータホームページ閲覧数 R3:未計測 ⇒ R6:1,706件

※オープンデータ:

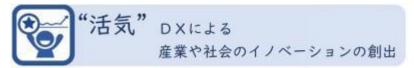
誰もが許可されたルールの 範囲内で自由に複製や加工 ができるデータ

オープンデータ公開数の推移

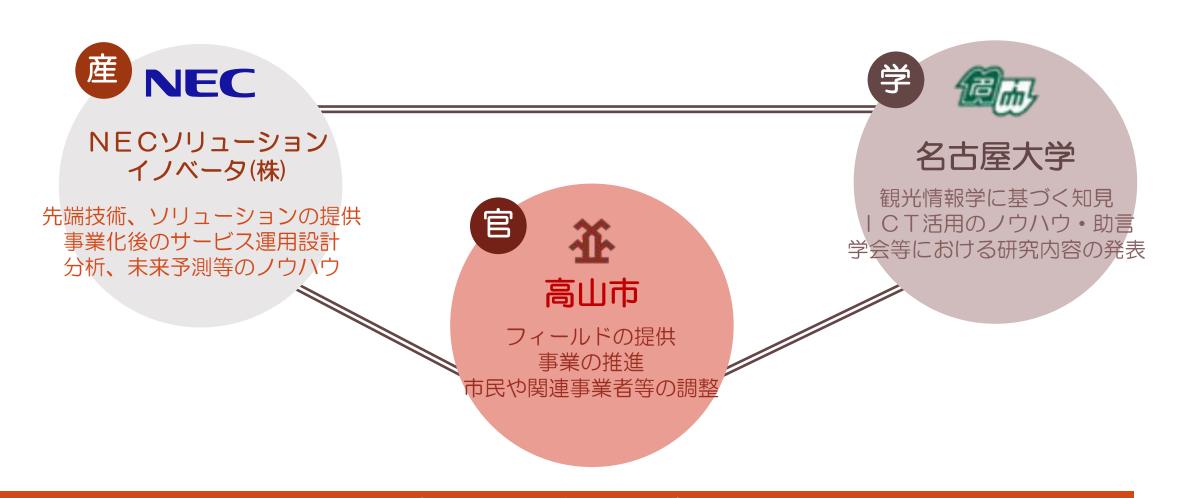
地域活性化の鍵となるオープンデータ を積極的に公開しています。



産学官連携事業の推進



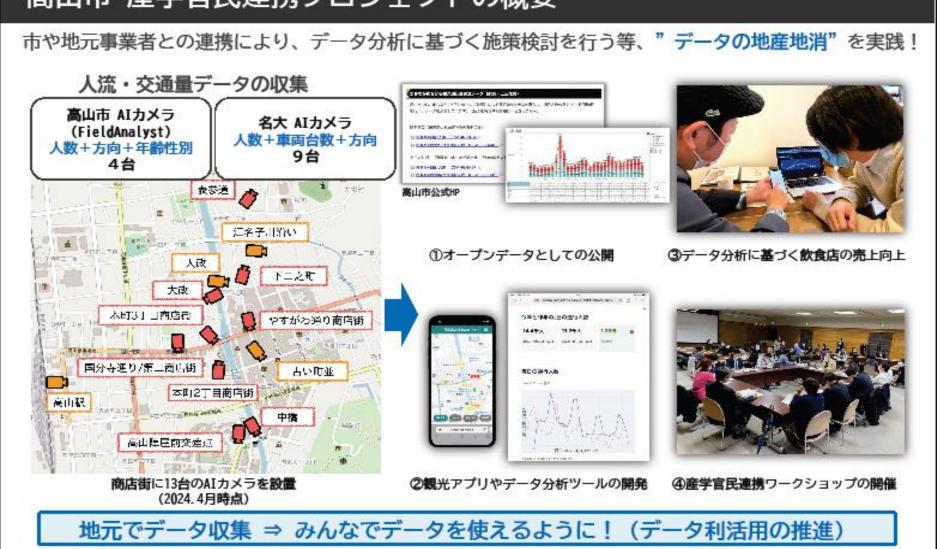
■ I C T を活用したまちづくりに関する連携協定を締結 | R 2. I O



「データの地産地消」による地域活性化

連携協定事業





地元高校との連携

- "活気" DXによる 産業や社会のイノベーションの創出
 - 連携協定事業

- ■地域 I Tリテラシーの向上に地元高校生が貢献
- ■データ分析を通じて高校生が地域を知る機会に



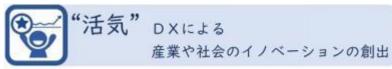


【実績】

・取り組みに参加した高校生の数 R5:58人 R6:48人

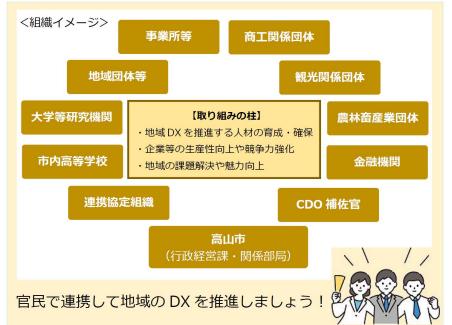


「飛騨高山DX推進官民連携プラットフォーム」



- 地域のDX推進に関わる多様な主体同士が活発に意見や情報を交換できる 環境を整備 | R6.IO設置
 - ⇒地域DX推進に向けた取り組みの発展・拡大や新たな取り組みの創出を図る





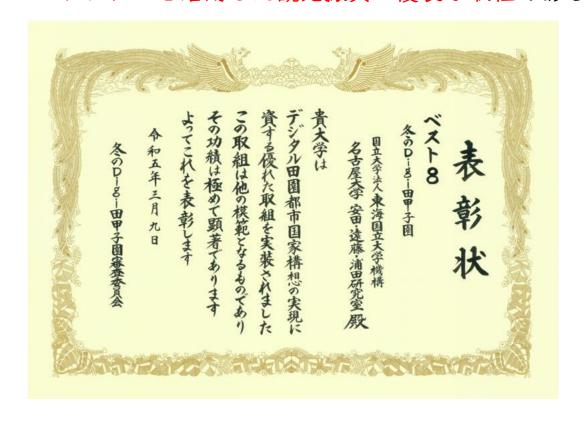


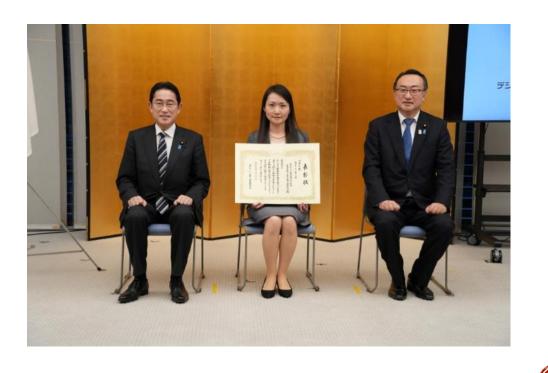
産学官連携の取り組みを全市的に拡大

市のDX推進に対する対外的評価

令和4年度冬のデジ田甲子園

- ■観光・文化・娯楽部門で審査員評価で | 位、総合評価でベスト8 | R5.3
- ・審査員講評
 - : A I カメラによるデータ収集・分析及び施策への活用等、大学、行政、民間事業者が連携して、 地域全体で課題解決に取り組み、成果を上げている点が評価できる。 また、こうした取組が他地域へ横展開されている点もよい。 デジタルを活用した観光振興の優良な取組である。





「電波の日・情報通信月間」記念式典表彰

- 東海総合通信局長表彰を受賞 | R7.6
 - ・A I カメラによる人流データ等の収集・分析及びオープンデータ化の取り組み が情報通信を活用した地域活性化に貢献があったとして評価





アーバンデータチャレンジ

"活気" DXによる 産業や社会のイノベーションの創出

- アーバンデータチャレンジ2022 | R 5. 3
 - ・ビジネス・プロフェッショナル部門 最優秀賞 作品名:「観光DX推進2022in飛騨高山」





- アーバンデータチャレンジ2024 | R 7. 3
 - ·一般部門 銀賞

作品名:「名大生・山高生によるデータを利活用した

観光まちづくりin飛騨高山」





全国自治体DX推進度ランキング(時事通信社)

- ■得点:67.4点(100点/満点) ランキング:86位/1,733市町村
 - ・総務省がR6年4月に公表した「地方公共団体における行政情報化の推進状況調査 (R5年4月|日時点)」の結果を独自方式で点数化
 - ・県内では、岐阜市、大垣市についで3位

評価項目 自治体のDX推進体制
フロントヤード改革
情報セキュリティ対策
デジタルデバイド対策
行政サービスの向上・高度化
行政手続きのオンライン利用



全国自治体フロントヤード改革度ランキング

- ■得点:48.75点(100点/満点) ランキング:80位/1,733市町村
 - ・総務省がR6年4月に公表した「地方公共団体における行政情報化の推進状況調査 (R5年4月1日時点)」の結果から、フロントヤード改革にかかわるデータを抽出し、 独自方式で点数化
 - ・県内では、各務原市、岐阜市についで3位

評価項目 自宅や近場、庁舎での手続き オンライン申請について データの把握状況 データの分析・活用 庁舎空間のあり方について



主な実績まとめ

■ オンラインで可能な手続き数(延べ件数ベース)

R3:198,148件 ⇒ R6:739,739件 (18.2%) (52.2%)

手続きの種類 R3: 595件 ⇒ R6: 1,092件

システム導入による時間削減

R3:725時間 ⇒ R6:1,085時間

■紙の削減(コピー機で印刷した枚数)

R3:7,466千枚 ⇒ R6:6,088千枚 (1,378千枚 (18.5%)の削減)

未来へ、挑戦は続く

高山市はこれからも「人にやさしいデジタル都市 飛騨高山」を目指し進めていきます。